



2025年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年7月11日

上場会社名 株式会社農業総合研究所 上場取引所 東
コード番号 3541 URL <https://www.nousouken.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 及川 智正
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 坂本 大輔 TEL 03-6417-1047
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第3四半期の業績（2024年9月1日～2025年5月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年8月期第3四半期 | 6,250 | 18.1 | 140 | 152.8 | 145 | 138.1 | 90 | 84.4 |
| 2024年8月期第3四半期 | 5,292 | 25.4 | 55 | 468.3 | 60 | 308.5 | 48 | 355.4 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年8月期第3四半期 | 4.11 | — |
| 2024年8月期第3四半期 | 2.22 | — |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載していません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年8月期第3四半期 | 2,681 | 1,052 | 39.2 |
| 2024年8月期 | 2,665 | 1,032 | 38.7 |

(参考) 自己資本 2025年8月期第3四半期 1,052百万円 2024年8月期 1,032百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年8月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2025年8月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2025年8月期（予想） | — | — | — | — | — |

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 2025年8月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

3. 2025年8月期の業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（％表示は対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 8,000 | 10.8 | 200 | 113.6 | 200 | 96.6 | 136 | 25.4 | 6.21 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 詳細は添付資料（P. 3「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2025年8月期3Q | 22,025,900株 | 2024年8月期 | 22,025,900株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年8月期3Q | 241,171株 | 2024年8月期 | 4,271株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2025年8月期3Q | 21,906,349株 | 2024年8月期3Q | 22,021,797株 |

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料（P. 3「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」）に記載しております。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当四半期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当四半期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 6 |
| (セグメント情報等の注記) | 7 |
| (重要な後発事象) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期の経営成績の概況

近年の全国農業総産出額は、米、野菜、肉用牛等における国内外の需要に応じた生産の進展等を背景に、9兆円前後で推移しております。2023年の農業総産出額は、米の需要が堅調に推移したことや野菜の生産量減少による価格上昇、鳥インフルエンザの影響により鶏卵価格が上昇したこと等から、前年に比べ4,968億円増加し、9兆4,952億円となりました。また、近年の生産農業所得は、全国農業総産出額の増減はあるものの、3兆円台で推移しております。2023年は、農産物の価格が上昇したこと等により、前年に比べ1,877億円増加し、3兆2,921億円となりました(出典:農林水産省「生産農業所得統計」)。他方で、2024年2月時点の農業経営体数88万3千経営体のうち、個人経営体は84万2千経営体で、前年に比べ5.2%減少した一方、団体経営体は4万1千経営体で0.7%増加し、団体経営体のうち、法人経営体は3万3千経営体で前年に比べ1.2%増加しております(出典:農林水産省「農業構造動態調査」)。農業経営体の減少が続く中、法人化や規模拡大の進展が継続しております。

当第3四半期累計期間における青果価格は、猛暑や天候不順の影響により、平年に比べ高い水準で推移しながらも当第3四半期会計期間においては一部品目で平年よりも低水準となりました。一方、第3四半期累計期間におけるスーパーマーケットの青果物の販売動向は、円安やエネルギーコスト上昇による消費者心理減退の懸念があるものの、相場高の影響により単価が上昇し、前年に比べ増加いたしました。

このような環境のもと、より多くの生活者に「おいしい」をお届けするために、当社の主たる事業である農家の直売所事業及び成長事業である産直事業を推進いたしました。2024年9月には株式会社NTTアグリテクノロジーとの資本業務提携契約を締結し、日本の食の安定供給や安全性の高い国産野菜の流通・拡大を進めてまいりました。また、ドラッグストアへの販路拡大等、新しい農産物流通の創造に向けた取組の深化を進めてまいりました。各種値上げ等のコスト増が見込まれる環境においても利益が確保できるよう、青果の相場高を追い風に販売単価向上や適量納品等の利益率向上施策を実施し、事業基盤の強化に努めました。

このような取組の結果、流通総額は12,764,314千円(前年同期比11.1%増)、2025年5月末日時点でスーパーマーケット等の国内小売店への導入店舗数は2,198店舗(前事業年度末より92店舗増)、農産物の集荷拠点である集荷場は78拠点(前事業年度末より3拠点減)、登録生産者は10,304名(前事業年度末より8名減)となりました。

当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は6,250,747千円(前年同四半期比18.1%増)、営業利益は140,197千円(前年同四半期比152.8%増)、経常利益は145,145千円(前年同四半期比138.1%増)、四半期純利益は90,003千円(前年同四半期比84.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、当中間会計期間より「産直卸事業」は「産直事業」に名称を変更しております。

①農家の直売所事業

農家の直売所事業では、当社及び業務委託先が運営する集荷場で登録いただいた生産者から農産物を出荷し、原則翌日にスーパー等の「産直コーナー」で販売する独自の流通プラットフォームを提供しております。

当第3四半期累計期間は、既存委託販売先との取引維持・拡大に加え、集荷場の統廃合や集荷場を拠点とした営業活動を行ってまいりました。青果相場高の環境のもと、スーパーでの豊富な品揃えを実現するため、品目バランスを考慮した買取委託の増加、適量納品、販売単価の向上、兵庫の集荷場における登録生産者からいただく出荷手数料の改定等、利益率向上施策に取り組み、事業基盤の強化に努めました。

これにより、流通総額は10,621,614千円(前年同四半期比9.6%増)、流通点数は46,907千点(前年同四半期比3.4%増)、売上高は4,193,923千円(前年同四半期比18.7%増)、セグメント利益は591,915千円(前年同四半期比26.1%増)となりました。

②産直事業

産直事業では、当社が生産者から直接農産物を買取り、商品の「パッケージ」、売場の「POP」、生産者のおすすめ「レシピ」などで商品の付加価値を可視化(ブランディング卸)し、スーパー等の「青果売場」で販売しております。

当第3四半期累計期間は、スーパー等の取引先の旺盛なニーズに対応するため、引き続き、全国の産地や市場との連携により商品供給を強化し、既存取引先を中心に取引を拡大いたしました。また、新しい農産物流通の創造に向け、農家の直売所における委託販売システムとこれまでのブランディング卸を融合した「産直委託モデル」を本格的に展開いたしました。

これにより、流通総額は2,142,699千円(前年同四半期比19.7%増)、売上高は2,056,824千円(前年同四半期比16.8%増)、セグメント利益は35,684千円(前年同四半期比10.3%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べ16,250千円増加し、2,681,683千円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比べ74,044千円増加し、2,085,120千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加54,954千円、売掛金の減少16,673千円、商品の増加31,768千円、その他流動資産の増加3,979千円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比べ57,793千円減少し、596,563千円となりました。これは、有形固定資産の減少9,781千円、無形固定資産の減少15,728千円、投資その他の資産の減少32,283千円によるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比べ3,753千円減少し、1,628,988千円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比べ229,928千円増加し、1,566,128千円となりました。これは主に、買掛金の増加23,238千円、短期借入金の減少14,994千円、1年内返済予定の長期借入金の増加200,000千円、未払金の増加28,457円、未払法人税等の減少1,619千円、賞与引当金の増加20,093千円、その他流動負債の減少25,247千円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比べ233,682千円減少し、62,859千円となりました。これは主に、長期借入金の減少235,298千円等によるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ20,003千円増加し、1,052,695千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加90,003千円、自己株式の増加69,999千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の通期業績予想につきましては、2025年4月14日の「2025年8月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました内容に変更はありません。

当第3四半期会計期間における青果相場は平年を大きく超える水準で始まりましたが、徐々に前年並みに戻っており、今後もこのような傾向が継続すると予想しております。

その結果、流通総額は17,000百万円(前事業年度比8.1%増)、売上高は8,000百万円(前事業年度比10.8%増)を見込んでおります。買取委託の粗利率のコントロールや物流効率の改善等の各種利益率向上施策に加え、相場高を追い風に、営業利益は200百万円(前事業年度比113.6%増)、経常利益は200百万円(前事業年度比96.6%増)、当期純利益は136百万円(前事業年度比25.4%増)を見込んでおります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2024年8月31日) | 当第3四半期会計期間 (2025年5月31日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 779,433 | 834,388 |
| 売掛金 | 1,192,013 | 1,175,340 |
| 商品 | 25,613 | 57,382 |
| その他 | 21,062 | 25,042 |
| 貸倒引当金 | △7,046 | △7,032 |
| 流動資産合計 | 2,011,076 | 2,085,120 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 78,020 | 68,238 |
| 無形固定資産 | 84,390 | 68,662 |
| 投資その他の資産 | 491,945 | 459,661 |
| 固定資産合計 | 654,356 | 596,563 |
| 資産合計 | 2,665,433 | 2,681,683 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 920,690 | 943,928 |
| 短期借入金 | 30,028 | 15,034 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 47,064 | 247,064 |
| 未払金 | 189,143 | 217,601 |
| 未払法人税等 | 5,686 | 4,067 |
| 賞与引当金 | 50,964 | 71,058 |
| その他 | 92,621 | 67,374 |
| 流動負債合計 | 1,336,199 | 1,566,128 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 281,235 | 45,937 |
| その他 | 15,306 | 16,922 |
| 固定負債合計 | 296,541 | 62,859 |
| 負債合計 | 1,632,741 | 1,628,988 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 50,000 | 50,000 |
| 資本剰余金 | 849,128 | 849,128 |
| 利益剰余金 | 133,625 | 223,629 |
| 自己株式 | △243 | △70,242 |
| 株主資本合計 | 1,032,511 | 1,052,515 |
| 新株予約権 | 180 | 180 |
| 純資産合計 | 1,032,691 | 1,052,695 |
| 負債純資産合計 | 2,665,433 | 2,681,683 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 5,292,490 | 6,250,747 |
| 売上原価 | 2,828,052 | 3,405,365 |
| 売上総利益 | 2,464,437 | 2,845,381 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,408,971 | 2,705,184 |
| 営業利益 | 55,466 | 140,197 |
| 営業外収益 | | |
| 有価証券利息 | — | 1,989 |
| 受取賃貸料 | 720 | 720 |
| 受取保険金 | 1,412 | 2,221 |
| 補助金収入 | 4,105 | — |
| その他 | 1,098 | 1,950 |
| 営業外収益合計 | 7,335 | 6,881 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,828 | 1,934 |
| その他 | 21 | — |
| 営業外費用合計 | 1,849 | 1,934 |
| 経常利益 | 60,951 | 145,145 |
| 特別利益 | | |
| 関係会社株式売却益 | 10 | — |
| 特別利益合計 | 10 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 1,920 |
| 特別損失合計 | — | 1,920 |
| 税引前四半期純利益 | 60,961 | 143,224 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,587 | 4,311 |
| 法人税等調整額 | 7,558 | 48,909 |
| 法人税等合計 | 12,146 | 53,221 |
| 四半期純利益 | 48,815 | 90,003 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 前第3四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

該当事項はありません。

2. 当第3四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

当社は、2025年1月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について決議し、普通株式236,900株を取得しました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が69,999千円増加しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 46,821千円 | 48,845千円 |

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|--------------|-----------|-----------|--------------|------------------------------|
| | 農家の直売所 事業 | 産直卸事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 委託販売システム | 1,368,692 | - | 1,368,692 | - | 1,368,692 |
| 買取委託販売 | 1,975,742 | - | 1,975,742 | - | 1,975,742 |
| 卸販売 | - | 1,760,255 | 1,760,255 | - | 1,760,255 |
| その他 | 187,799 | - | 187,799 | - | 187,799 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 3,532,234 | 1,760,255 | 5,292,490 | - | 5,292,490 |
| 外部顧客への売上高 | 3,532,234 | 1,760,255 | 5,292,490 | - | 5,292,490 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 3,532,234 | 1,760,255 | 5,292,490 | - | 5,292,490 |
| セグメント利益 | 469,440 | 32,357 | 501,798 | △446,331 | 55,466 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△446,331千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用446,331千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|--------------|-----------|-----------|--------------|------------------------------|
| | 農家の直売所 事業 | 産直事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 委託販売システム | 1,461,734 | 13,205 | 1,474,940 | - | 1,474,940 |
| 買取委託販売 | 2,572,218 | 68,094 | 2,640,313 | - | 2,640,313 |
| 卸販売 | - | 1,968,496 | 1,968,496 | - | 1,968,496 |
| その他 | 159,970 | 7,026 | 166,997 | - | 166,997 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 4,193,923 | 2,056,824 | 6,250,747 | - | 6,250,747 |
| 外部顧客への売上高 | 4,193,923 | 2,056,824 | 6,250,747 | - | 6,250,747 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 4,193,923 | 2,056,824 | 6,250,747 | - | 6,250,747 |
| セグメント利益 | 591,915 | 35,684 | 627,600 | △487,402 | 140,197 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△487,402千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用487,402千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、「産直卸事業」について、新しい農産物流通の創造に向け、農家の直売所における委託販売システムとこれまでのブランディング卸を融合した「産直委託モデル」を本格的に展開したことに伴い、当中間会計期間より報告セグメントを「産直事業」へ変更しております。なお、重要性が乏しいため、前第3四半期累計期間のセグメントの情報については変更前の区分方法により作成しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。